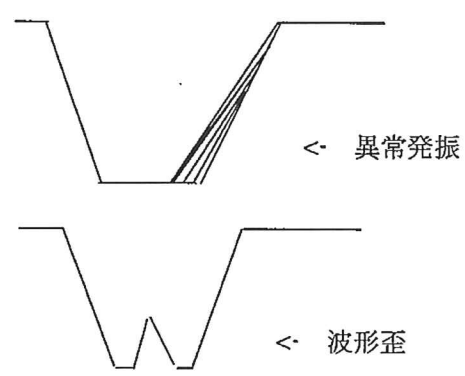


標準書 No. 314-7827			改訂		
3.2 検査					
<ul style="list-style-type: none"> 送信の最初に 同調・マク補電流調整 を検査パソコンが自動で行う。 測定データは、自動的に Performance 検査装置に通信する。 波形確認以外は全て検査パソコンが自動で行う。 					
項目 <i>ITEM</i>	条件・方法			測定 ポイント	規格
	Stby/Tx	レンジ	その他条件		
1)DC 入力低電圧 起動検査 <i>(?)</i>	Stby		DC=43V (この後は、48V)	自動測定 (LAN 通信)	起動すること
2)機種情報 <i>Type of Model</i>	Stby			自動測定 (LAN 通信)	<ul style="list-style-type: none"> DRS2D 送信出力=2。 アンテナ長=45 DRS4D 送信出力=4。 アンテナ長=60
3)プログラムバージョン <i>Program number version</i>	Stby			自動測定 (LAN 通信)	<ul style="list-style-type: none"> SPU アプリケーション 0359235 -01.06 Boot 0359237 -01.02 FPGA 0359239 -01.03 NMEA2000 アプリケーション 0359240 -01.03 Boot 0359242 -01.02
4)セルフチェック <i>Self-check</i>	Stby			自動測定 (LAN 通信)	<ul style="list-style-type: none"> SPU ROM=OK。 RAM=OK。 FPGA=OK。 NMEA2000 ROM=OK。 RAM=OK
5)パルス幅 <i>Pulse width</i>	Tx	0.125NM 1.5NM 2NM 3NM 6NM 24NM	パルス幅 S1 パルス幅 S2 パルス幅 M1 パルス幅 M2 パルス幅 M3 パルス幅 L	自動測定	0.05~0.10 μ S 0.13~0.20 μ S 0.25~0.35 μ S 0.45~0.55 μ S 0.65~0.75 μ S 0.75~0.85 μ S

項目	条件・方法			測定ポイント	規格	
	Stby/Tx	レンジ	その他条件			
6) 送信出力 OUTPUT POWER	Tx	0.125NM 1.5NM 2NM 3NM 6NM 24NM	ハ幅 S1	自動測定 Automatic measurement	DRS 2 D	DRS 4 D
			ハ幅 S2		1.3~3 KW	2.5~5.8 KW
			ハ幅 M1		1.4~3 KW	2.7~5.8 KW
			ハ幅 M2		1.5~3 KW	3~5.8 KW
			ハ幅 M3		1.5~3 KW	3~5.8 KW
			ハ幅 L		1.5~3 KW	3~5.8 KW
			ハ幅 L		1.5~3 KW	3~5.8 KW
7) マグネロン電流モニター <i>Magnetron current monitor</i>	Tx	0.125NM 1.5NM 24NM	ハ幅 S1	自動測定	DRS 2 D	DRS4D
			ハ幅 S2		2.29~2.45 V	2.36~2.6 V
			ハ幅 L		2.3 ~2.5 V	2.79~2.99 V
			ハ幅 L		2.44~2.57 V	2.95~3.15 V
8) 検波波形確認 <i>Crimp of detection</i>	Tx	0.125NM 1.5NM 2NM 3NM 6NM 24NM	ハ幅 S1	オシロスコープ 画面	各レンジで、異常発振・波形歪の無いこと。  波形サンプルは、次ページに記載しています。	
			ハ幅 S2			
			ハ幅 M1			
			ハ幅 M2			
			ハ幅 M3			
			ハ幅 L			
			ハ幅 L			